

自然に囲まれて

NIPS 同僚の小泉氏からバトンを渡されました。趣旨にふさわしく、春の日曜日の午後、猫の額のような我が家の庭の、ランチ用丸机で afternoon tea を楽しみながら書いてみることにしました。東京郊外の自然が残っている尾根に近く、ちょっとした森林浴が楽しめるところです。この時期、午前中は「ホーホケキョ」の大合唱であり、雨上がりの現在、見事な新緑がすがすがしい気分にしてれています。しばし、皆様とのおしゃべりを楽しませていただけたらと思います。

我が家の庭では、春菊が咲き始めました。もともとはなべに入れる野菜として種から育て始めたのですが、食べきれず、大きくなって硬そうなのでほうっておいたら花が咲き始めました。1mほどの丈に、小さく可憐な花がなんとなくバランス悪く咲いております。その先には、柿が鉢で育てられています。3年前の秋、食べた柿があまりにもおいしく、植えた種が土のなかで1冬、発芽してから2冬を越し、今春もドンドン伸びております。この新緑もとても柔らかそうな、生命力を感じさせる色をしています。パンジーもさすがに春の日差しは気持ちよさそうであり、次々につぼみができています。その先には、アスパラガスのプランターが2年目の成長を楽しんでいます。友人からアスパラガスは1日に5センチくらい伸びることもあってすごいよ！と言われ、いそいそと種を買ってきたのが1年前。出てきた「草」は非常に細く、子供に「緑色のフロス育てている」とか言われておりました。2年目の春、ツクシンボウのようにまた出てきましたが、まだ細く、「今年はツマヨウジ」とか言われております。細いまま育てると根が張り、来年あたりに収穫できるかもしれな

いとのことであり、1日5センチとやらも、3年越しなのですね…我が家の肥料は全部、だいたい1日1キロで生ゴミから作った有機肥料です。肥料として完熟するまでに時間がかかるため、アスパラガスの先に、コンポストが2つ設置してあります。どっちに生ゴミをいれたらいいか分かるように、ふたに明記し、自然の循環を楽しんでおります。

プチ自然を楽しみながら、ブッシュ米国大統領の言葉が思いだされます。スペースシャトルが大気圏突入時に破壊され、殉職された方たちの追悼礼拝で、宇宙計画の続行をアナウンスした際の一文です。

We are that part of nature which seeks to understand all nature.

(礼拝だったので原文は creation でしたが、ここでは nature と読み替えておきましょう)。自然の一部であるとの謙虚さとあくなき探究心が、絶妙な組み合わせで表現されていると思います。心に残っています。新緑であれ、極寒のスキー場であれ、植物であれ、動物であれ、栽培であれ、天然であれ、自然を、その一部であるわれわれが楽しめるのはすばらしいことです。それが、プライベートタイムだけではなく、生理学者、担当教員のはしくれではありますが、自然科学を職とさせていただいております。たしかにすべての研究が順風満帆ではありませんし、どこの教育現場にも、ぜんぜん seek to understand しようともしない学生さんが(多数?)います。それでも、「生命の理」を研究することも、説明することも、自然の楽しみ方のひとつと思える、お蔭様で幸せな日々です。

今後も日本生理学会会員の皆様とご一緒に seek to understand the logic of life を楽しませていただけたらと思います。